

船舶事故調査報告書

令和元年7月24日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	平成30年8月13日 09時43分ごろ
発生場所	沖縄県渡嘉敷村神山島北方沖 神山島灯台から真方位350° 500m付近 (概位 北緯26° 16.0′ 東経127° 35.0′)
事故の概要	プレジャーボートAMULETは、東進中、浅瀬に乗り揚げた。
事故調査の経過	平成30年8月14日、主管調査官（那覇事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート AMULET、9.1トン
船舶番号、船舶所有者等	250-21237 沖縄、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊
負傷者	なし
損傷	船底外板に破口
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 東南東、風力 4 海象：潮汐 下げ潮の初期
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、知人2人を乗せ、東進中、船長が、海面の色合いを見ることで浅瀬を避けて航行できると思い、目視で海面の状況を見ながら航行していたところ、浅瀬に気付いて機関を中立としたものの、浅瀬に乗り揚げた。 船長は、本船の喫水を知らなかった。
分析	本船は、東進中、船長が、海面の色合いを見ることで浅瀬を避けて航行できると思い、目視で海面の状況を見ながら航行したことから、浅瀬に気付くのが遅れ、浅瀬に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が東進中、船長が、目視で海面の状況を見ながら航行したため、浅瀬に気付くのが遅れ、浅瀬に乗り揚げたものと考えられる。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・浅瀬が存在する海域では、目視で海面の状況を確認するほか、GPSプロッターを活用して船位及び水深の確認を行うこと。 ・浅瀬がある海域を航行する船舶は、浅瀬の水深及び自船の喫水を事前に把握しておくこと。